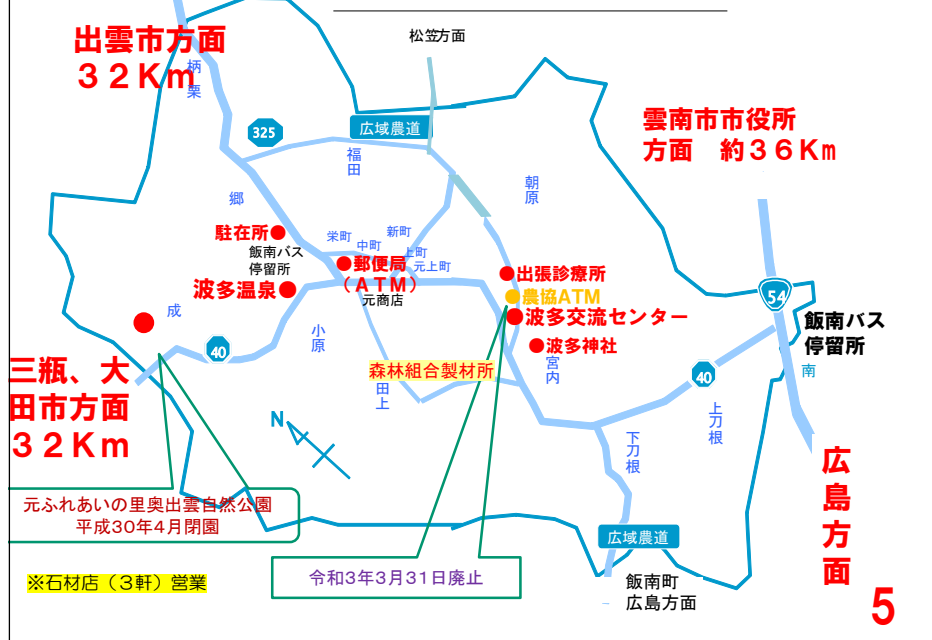


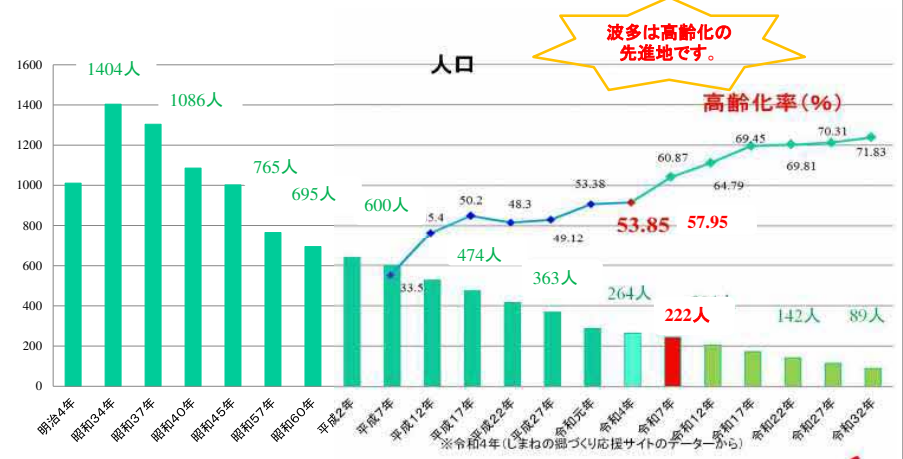
波多地区の地図



波多地区の人口と高齢化率の推移

人口	世帯数	高齢化率	面積	自治会数
222人	113世帯	58%	25.72 km ²	15自治会

※令和7年7月末現在(住民基本台帳から)



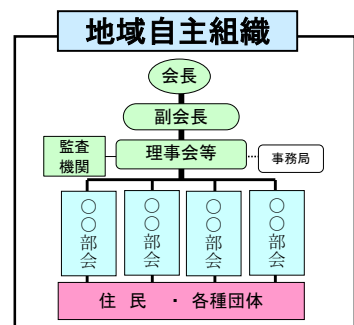
行政→幅広い活動が行える拠点を整備

～H19年度

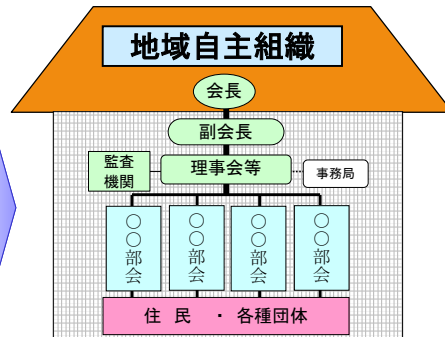
H22年度～

住民発意で組織化(地域)

活動拠点の整備(行政)



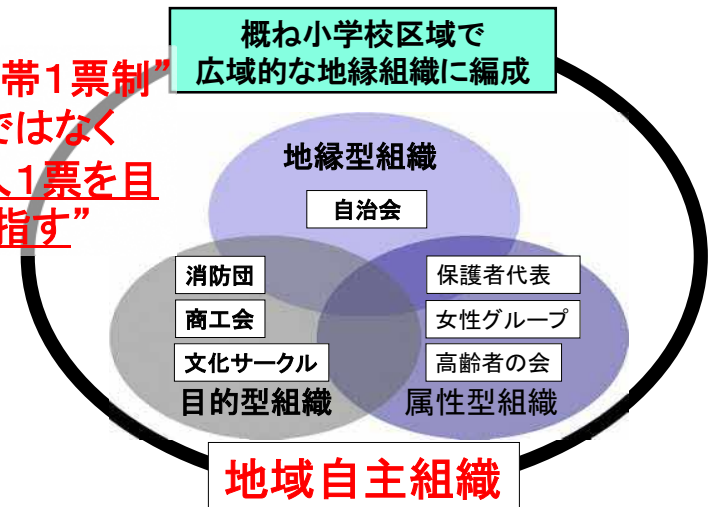
多世代住民×多様な団体



公民館等を「交流センター」へ
公設民営(指定管理)

地域自主組織＝地域の“総力”の結集

“1世帯1票制”
ではなく
“1人1票を
目指す”



＝波多コミュニティ協議会

波多コミュニティ協議会の概要

・昭和57年に設立。(波多自治会を改編)

・役員会 会長、副会長(4名)、主事、(センター長)、(事務局長)
4部制(地域づくり部・施設管理部・地域福祉部・生涯学習部)
部長は、副会長が兼務

・幹事会 役員:8名、自治会代表:5名、女性部代表:2名

・総会 自治会代表15名各種団体代表(老人クラブ・女性部・民生児童委員・消防団・商工会・交通安全協会・保護者会・波多駐在所・温泉運営委員会)で構成
各会議は、年4回程度開催

・法人格…認可地縁団体



9

コミュニティ協議会職員体制 (令和7年度)

交流センター職員 9名

※人件費は、雲南市交付金及び事業収入で主にまかっています。
平成25年度からコミュニティ協議会が直接雇用(会長:雇用主)

令和4年4月1日からの職員体制

(交流センター長)未定

☆交流センター主事(常勤職員)

☆地域福祉推進員(主事兼務)

☆生涯学習推進員(主事兼務)

☆会計(非常勤職員1日/週)

☆集落支援員(非常勤職員4日/週)

☆施設管理者(2名非常勤職員3日/週) ☆パート職員(4名2日/週)

☆コミュニティナース(雲南市嘱託職員)波多地区週1日(令和元年終了)

※不足の場合は、役員が対応しています。(時給@970円)

波多温泉「満寿の湯」職員

☆管理者(常勤)1名、パート職員 10名

事業内容(経理区分)

コミュニティ事業・地域福祉事業・交流センター指定管理事業

波多マーケット事業・波多温泉「満寿の湯」指定管理事業

(法人税及び消費税の申告事務は税理士に委託)

10

波多コミュニティ協議会 活動の軌跡

○「波多いそどりプロジェクト」を結成(平成20年度~平成22年度)

中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業(島根県)

地域マネージャーを配置して波多地区の課題を
抽出し解決に向かう

・地域を回って、ヒヤリング(全住民を対象)を3回実施。



11

地域づくりビジョン

「彩りプロジェクト」の地域づくりビジョンを作成

地域マップ・生活アンケートなどで地域の実情、困りごとを
出してもらう。

重点課題

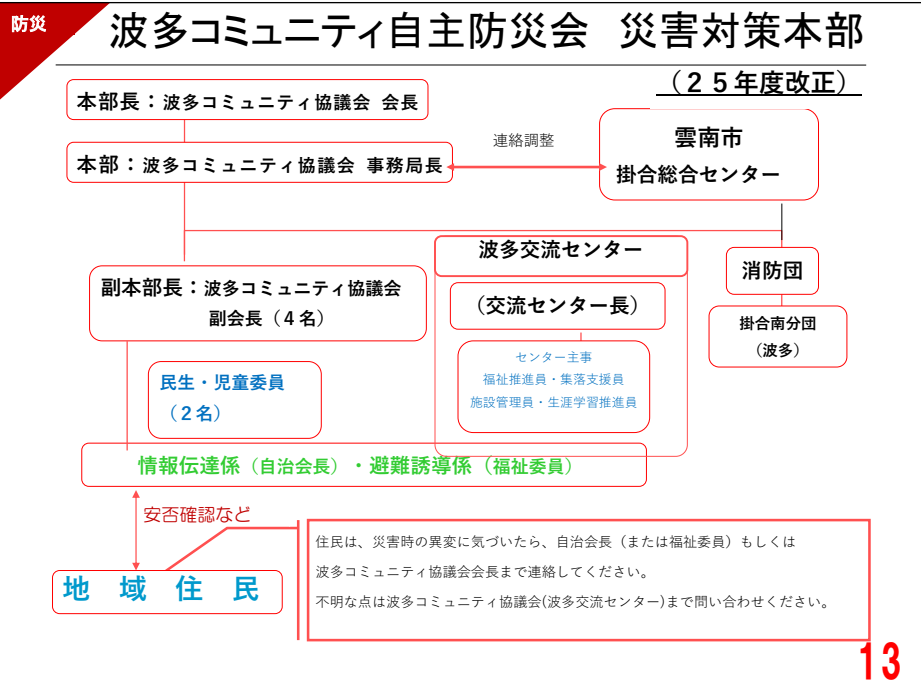
- ① 防災 : 防災体制の整備
- ② 買い物 : 買い物の不便の軽減
- ③ 交通 : 地区内交通手段の確保
- ④ 産業 : 小さな仕事場づくり
- ⑤ 交流 : 自然を生かして交流を促進

5つの分野で活動をする

みんなで ・前向きに ・無理をせず ・楽しんで

みんなが「思いやり」を持って「たすけあい・安心」
して暮らしていける。そんな地域をめざそう！

12



防災 防災マップの作成

防災体制の整備

- ・「くらしの安心カード」の作成。
- ・「災害時連絡網」の整備。
- ・防災メール(一斉)
- ・波多独自の要支援者ファイル (各自治会・本部)
- ・自治会一時避難所プレート設置
- ・避難経路、避難場所、連絡先パネルの設置(各自治会ごと)

防災訓練24年度から毎年6月に実施。
(1年だけ大雨で中止)
この事業をきっかけに何かの時は「波多交流センターへ」住民の気持ちの中で高まるようになった。



防災 波多地区防災会防災訓練

第1回平成23年12月4日(第2回から6月第3日曜日)

- ・ **テーマ:興味を持って**
誰もが参加できる訓練
- 想定:豪雨による「高齢者等避難 レベル3」の情報発令を想定
- 目的:「要支援者」の避難支援を中心に「情報伝達」訓練を波多地区内で実施
- 方法○自治会ごとに「要支援者」の安否確認
 - 一時避難所への避難
 - 一時避難所から指定避難所への避難

～くらしの安心カード～

ふりがな	自治会名
世帯主氏名	
生年月日	血液型: 型
自宅住所	西
わかりつけの電話番号	
アドレス: 情報収集と確認して記入してください。	
ふりがな	
氏名	
生年月日	血液型: 型
わかりつけの電話番号	西
アドレス: 情報収集と確認して記入してください。	
ふりがな	
氏名	
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 血液型: 型
わかりつけの電話番号	西
アドレス: 情報収集と確認して記入してください。	
緊急連絡先① 氏名	血液型: 西
緊急連絡先② 氏名	血液型: 西
その他特記事項	

防災

訓練風景



各自治会から安否確認、避難状況の電話連絡が副本部長へ

防災対策本部設定



緊急放送
雲南市より「避難準備
情報発令」



副本部長から雲南市、消防団、雲南警察署へ避難支援要請の連絡



避難者受付所設定・受け付け開始
避難状況、避難者をチェックする

17

防災



車いすを使った避難



全ての方が消火器の使い方を体験しました



起震車体験です。



使い方もマスターしておかないといけません。
ご飯は、通常の時間で炊くことが出来ました。

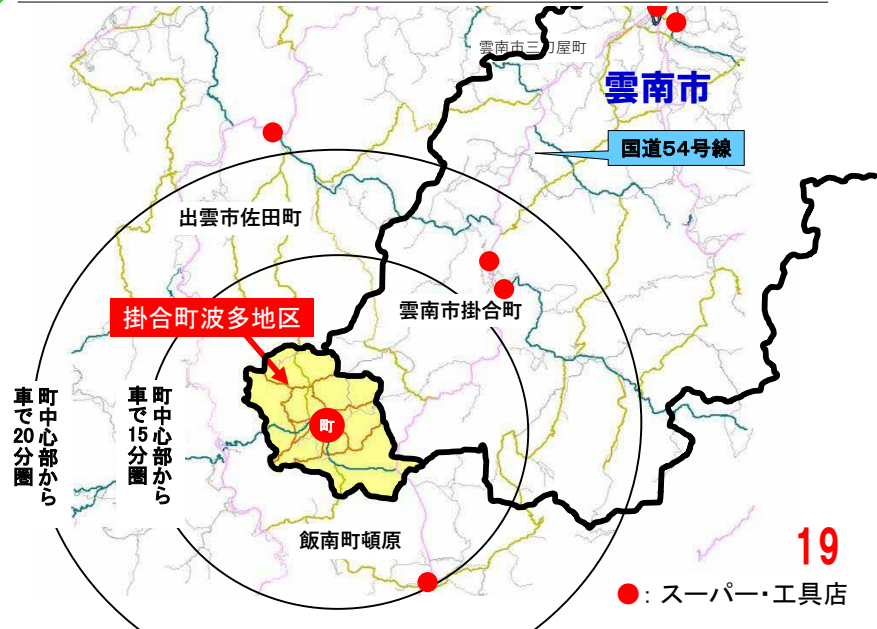


最後は、炊けたご飯をカレーライスにして会食しました。

18

買い物

波多地区周辺のスーパー等



雲南市三ツ屋町

雲南市

国道54号線

出雲市佐田町

雲南市掛合町

掛合町波多地区

飯南町頓原

町中心部から
車で20分圏

町中心部から
車で15分圏

●: スーパー・工具店

19

買い物

商店がなくなる

寄り場がなくなった!

買い物ができんがね!


楽しみがなくなったわあ

車を持たない方、高齢者の中に不安の声が広まる。

**交流センターの中に
お店があればいいのに!**

という声も上がりました。

雲南市からの紹介で交流センター内にお店を設置しようという案が出ました。



20

「はたマーケット」開設の経過（事業費500万円）

H,26年 6月30日 全日本食品(株)から役員に対して「マイクロスーパー」の提案を受ける(雲南市の紹介)

7月12日 幹事会の承認を得て、「公益財団法人ふるさと島根定住財団」へ補助金交付申請書提出(申請期限7月15日)

8月18日 総会で、マーケットの開設への取り組みの承認を得て、全日本食品へ加盟申請

9月 4日 全日食島根協同組合から加盟承認通知

9月 9日 島根定住財団の公開審査会において事業採択となり、補助金の交付決定(200万円)

9月12日 総会にて、交流センター内へマーケット開設決定。会員、地元出身者に開店資金支援の寄附を募る(約50万円)～ 出資無し

9月19日 交流センター会議室の雲南市目的外使用許可

9月29日 日本政策金融公庫から借入(250万円)

10月 1日 改装工事、設備工事、備品購入の契約締結及び作業

10月 8日 「はたマーケット」オープン

H,27年 2月 一般酒類小売業」免許取得 ※

4月 中国財務局から「たばこ小売販売業」認可 ※認可地縁団体の理解されない

21

「はたマーケット」の様子



住みなれた地域で暮らしつつけることができるまちづくりのための福祉事業として位置づけています。喫茶コーナーを設置し、買い物に来た皆さんがくつろげるスペースを設け、外出支援、さりげない見守り活動にもつなげています。
(主なお客様～ 移動手段を持たない方)

売り場面積 約50平方メートル
取扱品目 当初1000品目⇒現在800品目程度
利用者数 1日平均30人(平成30年度)
販売価格 大手スーパー並みの価格



22

マーケットで出会った人同士で、世間話に花が咲きます。「元氣だったかね、家で何しちよるかね」

はたマーケット販売業務

波多交流センター職員が兼務でレジ・発注などを行います。

雲南市からの地域づくり活動交付金で波多コミュニティ協議会が雇用しています



交流センター事務室では普段の仕事をします。



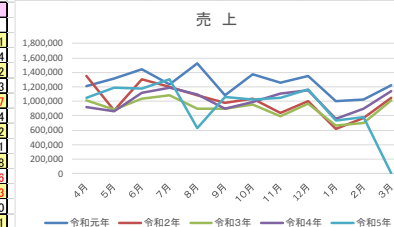
職員5人が役割り分担をして、普段の業務とはたマーケットをやりくりしています。やっとな慣れてきた運営ですが、まだまだこれからです。地域の皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。



23

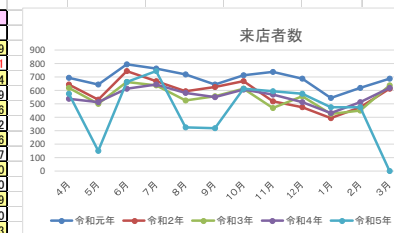
はたマーケット(売上)

月	年度				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
4月	1,206,956	1,347,016	1,009,252	917,495	1,048,461
5月	1,315,730	877,040	885,728	864,607	1,187,134
6月	1,447,709	1,307,594	1,037,197	1,122,362	1,181,152
7月	1,237,911	1,199,851	1,082,086	1,186,020	1,305,913
8月	1,524,115	1,087,770	895,182	1,097,895	635,937
9月	1,083,299	984,490	892,845	900,930	1,056,354
10月	1,369,262	1,036,005	957,847	990,483	1,027,962
11月	1,259,323	841,119	796,735	1,102,625	1,051,051
12月	1,355,482	1,004,115	969,771	1,153,889	1,169,278
1月	1,006,201	613,822	868,233	756,633	738,116
2月	1,029,572	775,523	898,303	902,119	780,253
3月	1,227,035	1,044,575	1,019,550	1,141,981	0
合計	15,056,595	12,118,920	6,760,237	12,137,039	11,181,611



はたマーケット(来店者数)

月	年度				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
4月	695	644	623	540	679
5月	648	531	505	514	151
6月	798	747	667	617	664
7月	765	674	643	648	749
8月	720	594	526	585	328
9月	646	628	557	551	322
10月	717	672	614	606	616
11月	740	524	473	573	597
12月	689	477	556	518	680
1月	547	397	430	433	480
2月	620	480	455	516	479
3月	689	618	639	619	0
合計	8,274	6,986	6,688	6,720	5,543



※シート数

24

地域内交通「たすけ愛号」

車を持たない高齢者の方、一人暮らしの方から、手軽に頼める交通機関があれば嬉しいとの要望により「たすけ愛号」の運行を21年度から始めました。いまでは、地域に無くてはならないものとなっています。

現在、「無料送迎」の試行を行っています。

波多地区内をエリアに送迎を行っています。運転は、主に交流センター職員が行い、運行時間は、原則交流センターの勤務時間内としています。令和7年度は、1日当たり6.4人の利用となっています。



平成31年3月、外部波多出身者の方70名ほどの寄付により福祉車両を購入し、たすけ愛2号として高齢者、足腰の不自由な方に喜ばれています。

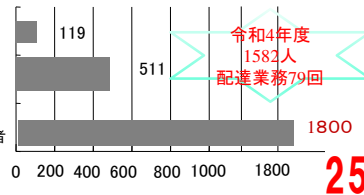
「たすけ愛号」の利用ニーズと実績

リピーター多い！
潜在ニーズ多い！

「利用したい」と回答した人数(21年度)

のべ利用者数(25年度)

マーケット開店後の延べ利用者(令和6年度)



25



当初は200円/人でスタート

利用用途：マーケット(47%)、交流センター(15%)、温泉(12%)、診療所、バス停、知り合い宅、ATMへなどの送迎

福祉活動

福祉事業

たすけ愛号の運行

地域内交通、無料で送迎

年間 1500 回の利用

波多マーケットの配達

※ 車内にて困りことなどの情報が得られる



ほかほかわくわくサロン

月に1回開催

1回の開催に10人から15人の参加

毎回ワクワクするような内容のこをする

手先を使い、考えた物づくりや身体を動かしたりして毎回楽しめます。



26

ほかわく体操

第2,第4木曜日に開催

10人前後の方が参加

※ 始めた頃から参加者が少なく改善するために、さきさん教室の前に行いました。



はたスポーツすむ

はたマーケットの隣の部屋に開設

家庭で使われなくなった健康器具をいただき設置

しました。イススポーツも楽しめ、お茶も楽しめる

ようにしてあります。解説にあたり以前から親交のある

看護師や、作業療法士からアドバイスをもらいました。

また、季節ごとに波多の20代の女性の写真展も開催

しています。「スム時間」とし地元の方がしておられる

リンパマッサージや道の駅の駅長さんにうなんPR

やマイナンバーカード申請サポート、町の保健室を

行っています。



27

ふれあい交流会

年2回開催。

生涯学習部と合同で行う

多世代交流とし、催しものを行う。

100名近い方が参加される。

波多に携わった方も協力してくれる。

※ 子どもの事業と一緒にすることで多世代で交流できるようになった。



新型コロナワクチン接種便臨時バス運行協力

波多地区の車を持たない高齢者さんを対象にワクチン接種便を運行。

ワクチン接種便利用確認。

日時、持ち物などをお知らせ。

問診票記入補助

当日たすけ愛号で送迎。

持ち物、体調確認。

接種便に同乗。(看護師に依頼)

接種翌日体調確認。

※ ワクチン接種を諦めると言われる方にも接種してもらえた。



28

マイナンバーカード申請サポート

マイナンバーカード申請がわからない、できない方をサポートし申し込みをしてもらうために市役所に依頼。申し込み者広報、とりまとめを行う。出張サポートも同時開催。30名以上の方が利用された。



- ・ふれあいいきいきサロン活動報告
- ・避難支援登録者管理
- ・地域の見守り、個別訪問

29

担い手育成事業（地域経営カレッジ）

- ・地域経営カレッジとは
次世代が地域に関わるきっかけづくりや地域の担い手の育成と確保を目的にした事業。雲南市と自主組織の共催で行われ、希望、推薦により選出されたメンバーが約6ヶ月間地域の課題から検討テーマを決め取り組む。

スタート

- ・令和3年10月から令和4年3月の期間で行う。（令和5年3月）
当初6ヶ月の事業だったがメンバー希望により延長して活動を行った。
- ・波多のメンバー
50代2名 40代1名 30代2名 20代2名（新メンバー2名20、30代1名）
半年の間10回集まり、協議
現状確認、ヒヤリングをかさねていき検討テーマを絞り込み

「人に来てもらう波多づくり 関係人口拡大」に決定

今後のスケジュール ↓ 内容検討

自分たち目線で大切にしたい「波多」の姿を思い描きやってみたいが決定する。

かつて（コロナ前）の秋祭り「はやしこ奉納」の復活

30

（波多地区出身者、波多地区に関わりのあった方を巻き込み関係人口拡大）

- ・出身者との連絡ツール（ライングループ）にて情報発信、呼びかけ
- ・掛合高校の生徒さんの参加→これまでは波多地区担当の生徒さん5.6名の参加を1年生全員になった。これからも全員参加のお願いをする。

（伝統文化の保存や継承につなげる）

- ・映像制作
（最後まで観れる、あきない映像時間検討、コメント、映像修正しました。）

成果

- ・波多出身者の希薄になりかけていた繋がりを再確認することができた
- ・掛合高校の生徒さんや出身者の参加によりはやしこが大行列になった
- ・地域のことや地域の伝統文化を知ってもらえる機会が増えた
- ・製作した映像を地域の伝統文化を知ってもらうこと情報発信ツールとし活用できた

カレッジが終了したから終わりではなく続きができました

コロナ後波多地区の夏祭り実行委員会がなくなりました。そこで40代50代が、変わる何かをしようとして立ち上がりカレッジのメンバーも加わり「波多夜市だヨ全員集合！」と集まり楽しむことができました。

31

写真は令和4年のはやしこ奉納の写真です。
70名の行列になりました。



令和5年に行われた「波多夜市だヨ全員集合」の様子です。
130名の賑わいがありました。



32

その他の活動

波多コミュニティ協議会 生涯学習・福祉活動



ふれあい交流会



スペシャル喫茶テ



喫茶デー(毎週水曜日)



温泉ほかほかわくわくサロン

安否確認・ひきこもり防止等の場として有効な活動です。

33

その他の活動

波多コミュニティ協議会 その他の活動



高南市から指定管理を受け、運営年間約2万人の入湯者

波多温泉満壽の湯 運営



自分たちで処理し、通行解除の対応を行います。除草や倒木処理などの自主作業



EM石けんづくり(女性部)



高南市内の小学生(3年生~6年生)を募集し、3泊4日の合宿

生涯学習活動(自然体験合宿)

34

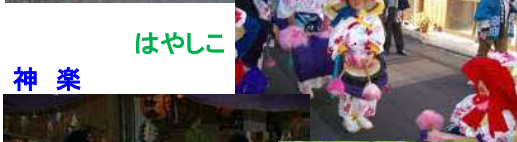
その他の活動



波多神社



とんどまつり



はやしこ



波多温泉祭り



神楽



アカショウビン

35

現在の活動

現在進めている活動

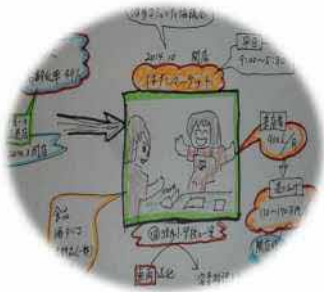
第3次波多地区振興計画(令和3年度~令和7年度まで)

- ・「たすけ愛」のしくみをつくろう (地域福祉活動)
 - ★共助による「安全な地域づくり体制」の推進を図る。
 - ・防災体制の機能強化、「たすけ愛号」の継続
- ・いきいきと元気で、こころ豊かに暮らそう (生涯学習活動)
 - ★地域のふれあいの場を活用して「交流活動」を推進する。
 - ・交流センターでの生涯学習、サークル活動の推進、サロン活動、喫茶デイの開催
- ・波多の素材を産業につなげよう (地域づくり活動)
 - ★波多温泉「満壽の湯」の活用による交流の場づくりを進める。
 - ★はたマーケットを活用した「地域製品の販売」を検討。
- ・住みよい波多をPRし、Iターン、Uターンにつなげよう(人口対策)
 - ★「地域の情報」を波多出身者へ届ける。
 - 令和4年9月現在、約50名の方へ発信しています。

1口2000円で希望者に発送。半分は郵送料、半分はご寄付として納入していただいています。

36

波多地区のこれからは？



- 5～10年後を想定。
- 地域を担う若手に期待。
- 波多の「宝」を守る。
- 現状維持「延命」。



※なかなか大変ですけど、
「出来る人が、出来ることを、出来ることだけ、無理せずに！」
これから、やっていきたいと思っています。

ご清聴、ありがとうございました。

波多コミュニティ協議会